



水・大地・空気を未来につなぐ

株式会社 ミダックホールディングス  
[証券コード：6564]

2022年3月期  
決算説明資料

①当社グループの紹介	…P2
②決算内容	…P8
③今後の見通し	…P18
④新規廃棄物処理施設の設置計画	…P22
⑤トピックス	…P29
⑥Appendix	…P32

①当社グループの紹介	…P2
②決算内容	…P8
③今後の見通し	…P18
④新規廃棄物処理施設の設置計画	…P22
⑤トピックス	…P29
⑥Appendix	…P32

## ①-1 当社グループの紹介（会社概要）



社名：株式会社ミダックホールディングス MIDAC HOLDINGS CO.,LTD. )  
 創業：1952年4月（昭和27年）  
 資本金：21億4,987万円  
 代表者：代表取締役社長 加藤 恵子  
 本社：静岡県浜松市東区有玉南町2163番地  
 従業員：284名<sup>(注)</sup>（2022年3月末：グループ連結）  
 子会社：株式会社ミダック（浜松市東区） 株式会社ミダックライナー（浜松市東区）  
 株式会社三晃（愛知県春日井市） 株式会社柳産業（浜松市西区）

注:臨時雇用者の平均人員数を含む

### 《事業内容》

- 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬・処分
- 一般廃棄物の収集運搬・処分

### 《保有施設》

● ミダック ● 三晃 ● 柳産業

#### 事業所

- 富士宮事業所（焼却）
- 本社事業所（水処理・収集運搬設備）
- 呉松事業所（破碎）
- 豊橋事業所（混練）
- 春日井事業所（コンクリート固化）
- 関事業所（水処理）
- 柳産業（破碎）

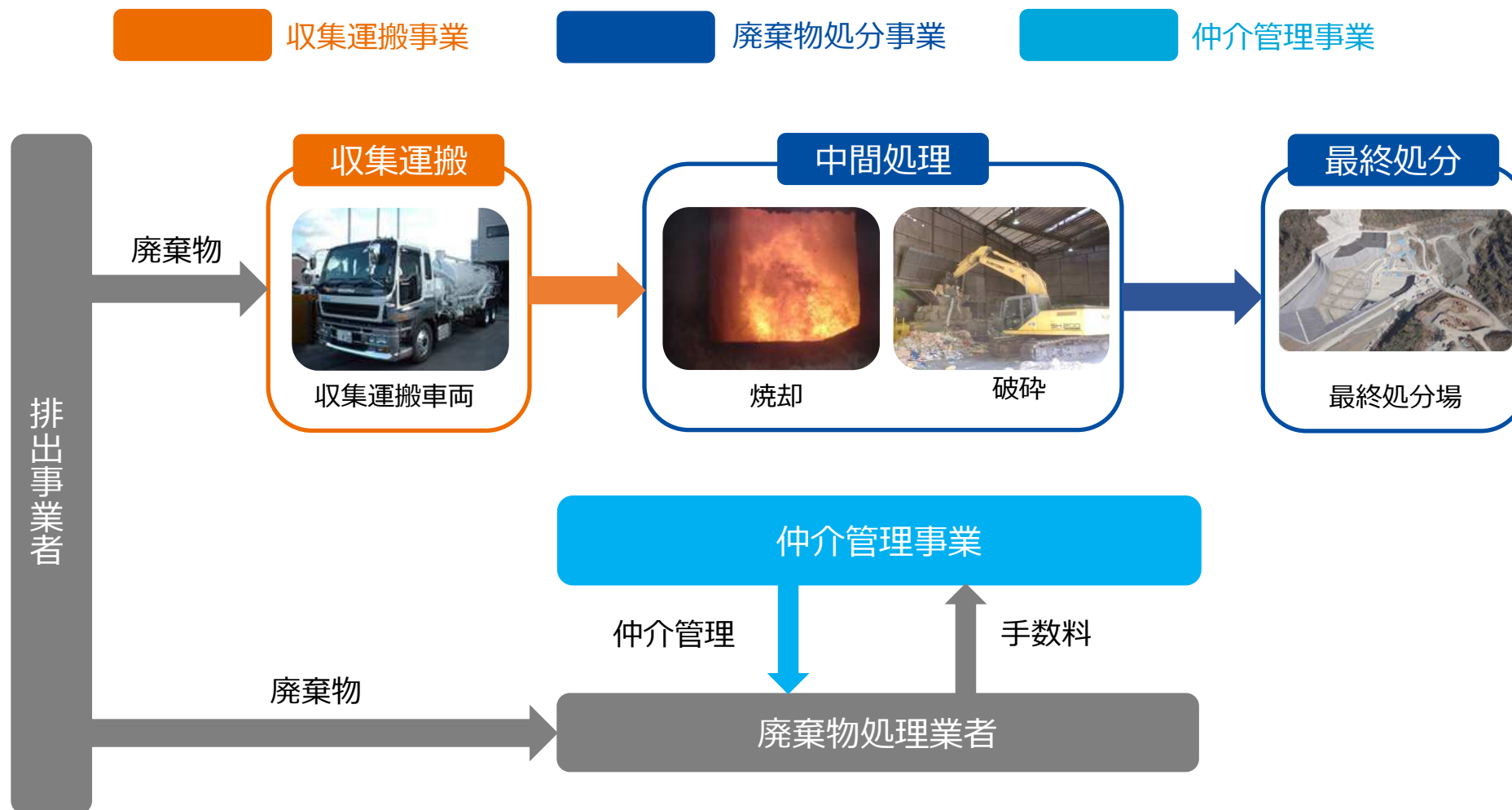
#### 営業所

- 東京営業所（神奈川県川崎市）
- 富士宮営業所（静岡県富士宮市）
- 本社営業所（静岡県浜松市）
- 名古屋営業所（愛知県名古屋市）

# ①-2 当社グループの紹介（拠点一覧）

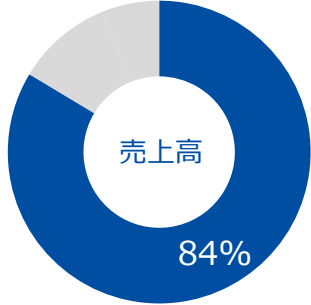


# ①-3 当社グループの紹介（廃棄物処理の工程）



# ①-4 当社グループの紹介（セグメント一覧）

## <廃棄物処分手業>



- 自社施設による廃棄物処理サービスを提供
- 廃棄物処理サービスとは、中間処理と最終処分から構成
- 当グループの中核事業であり、多種多様な廃棄物を処理できる体制を構築



関事業所（水処理）

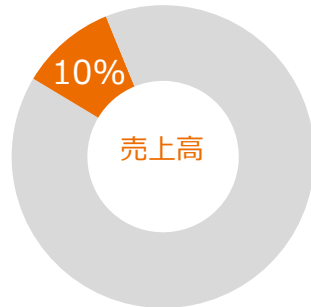


呉松事業所（破碎処理）



奥山の社CC（最終処分場）

## <収集運搬事業>



- 廃棄物の収集運搬サービスを提供
- 固形物や廃液まで多様な廃棄物を運搬できるよう、各種車両を完備
- 付随して、清掃業務も受注



収集運搬車両（産廃収集）

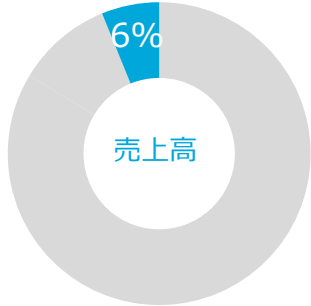


収集運搬車両（一般収集）



清掃業務

## <仲介管理事業>



- 自社以外の処理業者へ顧客の紹介サービスを提供
- 自社処理が困難な廃棄物や、自社の商圏以外の廃棄物に対して、適正な廃棄物処理を提案



富士宮営業所



東京営業所



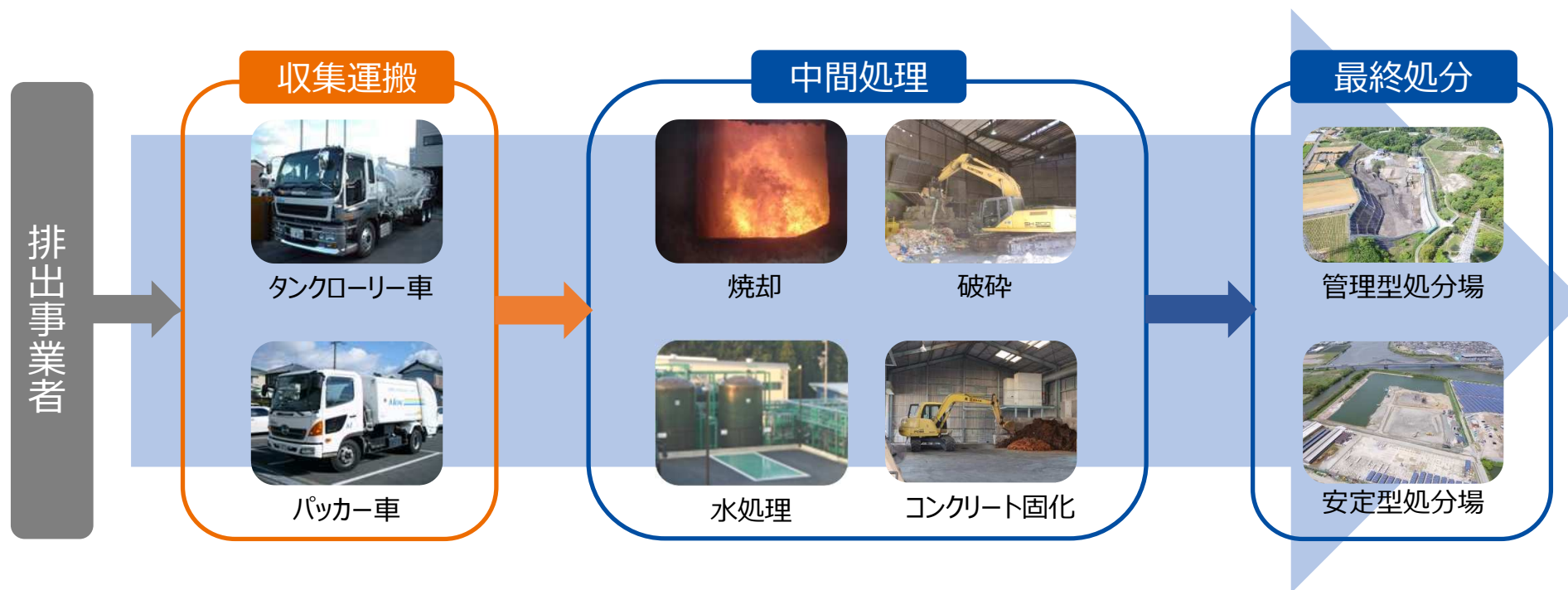
名古屋営業所

注:売上高（2022年3月期実績）には内部売上高を含む

## ①-5 当社グループの紹介（一貫処理体制）

- 同業の多くが収集運搬業のみや中間処理業のみであるのに対し、当社グループは様々な設備を有することで、収集運搬から最終処分までを請け負う一貫とした処理体制を構築

### 一貫処理体制



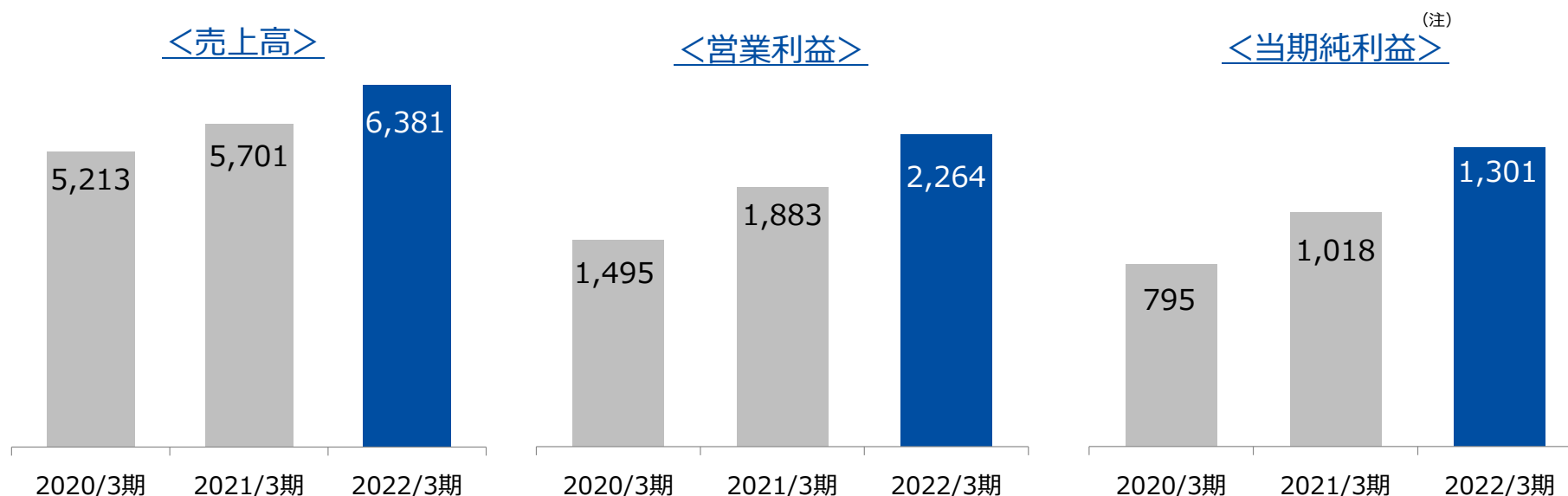
- 排出事業者は廃棄物処理の過程で不適正処理等される心配がなく安心して廃棄物を委託
- グループ内で排出される廃棄物を内製化することで、中間処理施設のコスト削減を実現し、競争力を高める等のシナジー効果を発揮



①当社グループの紹介	…P2
②決算内容	…P8
③今後の見通し	…P18
④新規廃棄物処理施設の設置計画	…P22
⑤トピックス	…P29
⑥Appendix	…P32

## ②-1 決算内容（連結業績ハイライト）

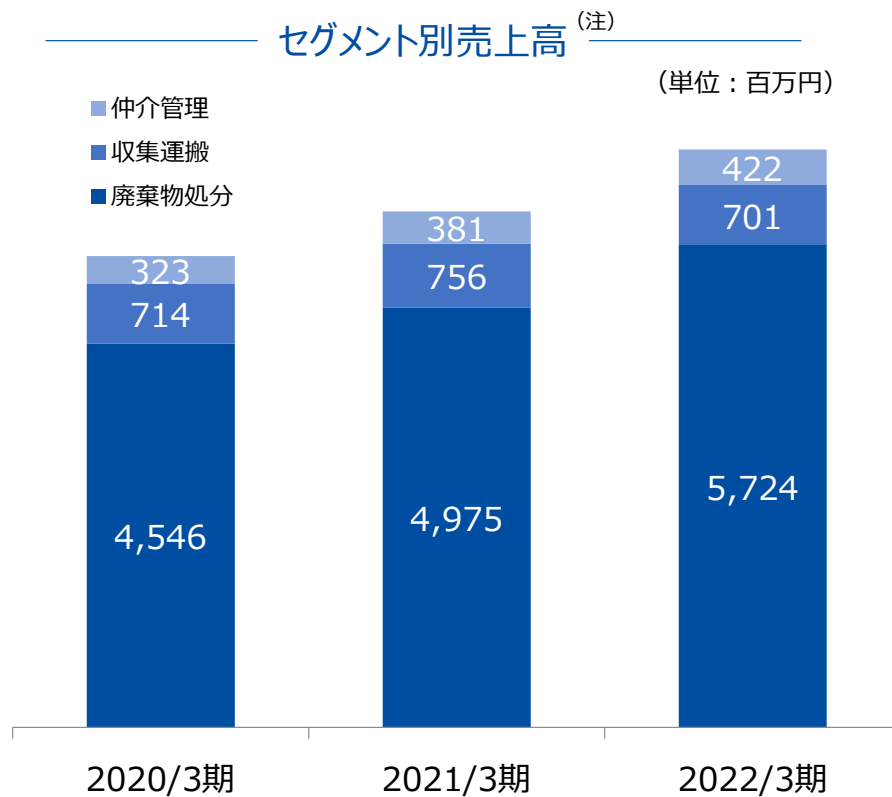
- 売上高 : **6,381百万円** (対前年+11.9%)
- 営業利益 : **2,264百万円** (対前年+20.2%)
- 当期純利益 : **1,301百万円** (対前年+27.7%)



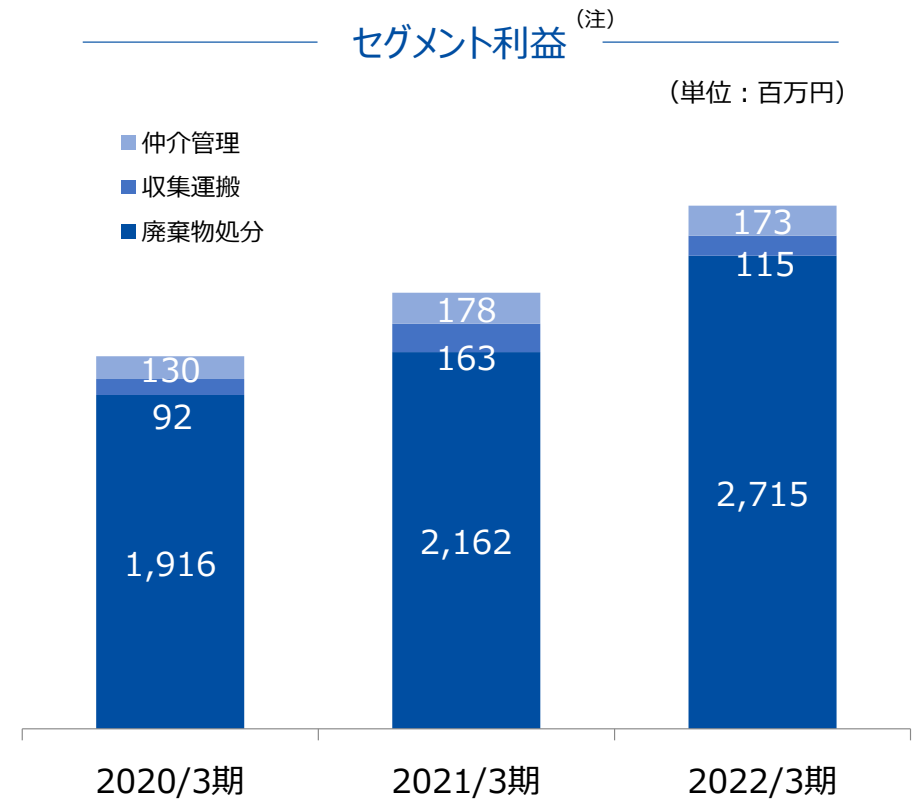
注:親会社株主に帰属する当期純利益

## ②-2 決算内容（セグメント別分析）

- 廃棄物処分事業は、増収・増益となった一方で、収集運搬事業は、前期の大型工事案件の反動減により減収・減益となった
- 仲介管理事業は、増収・減益となった



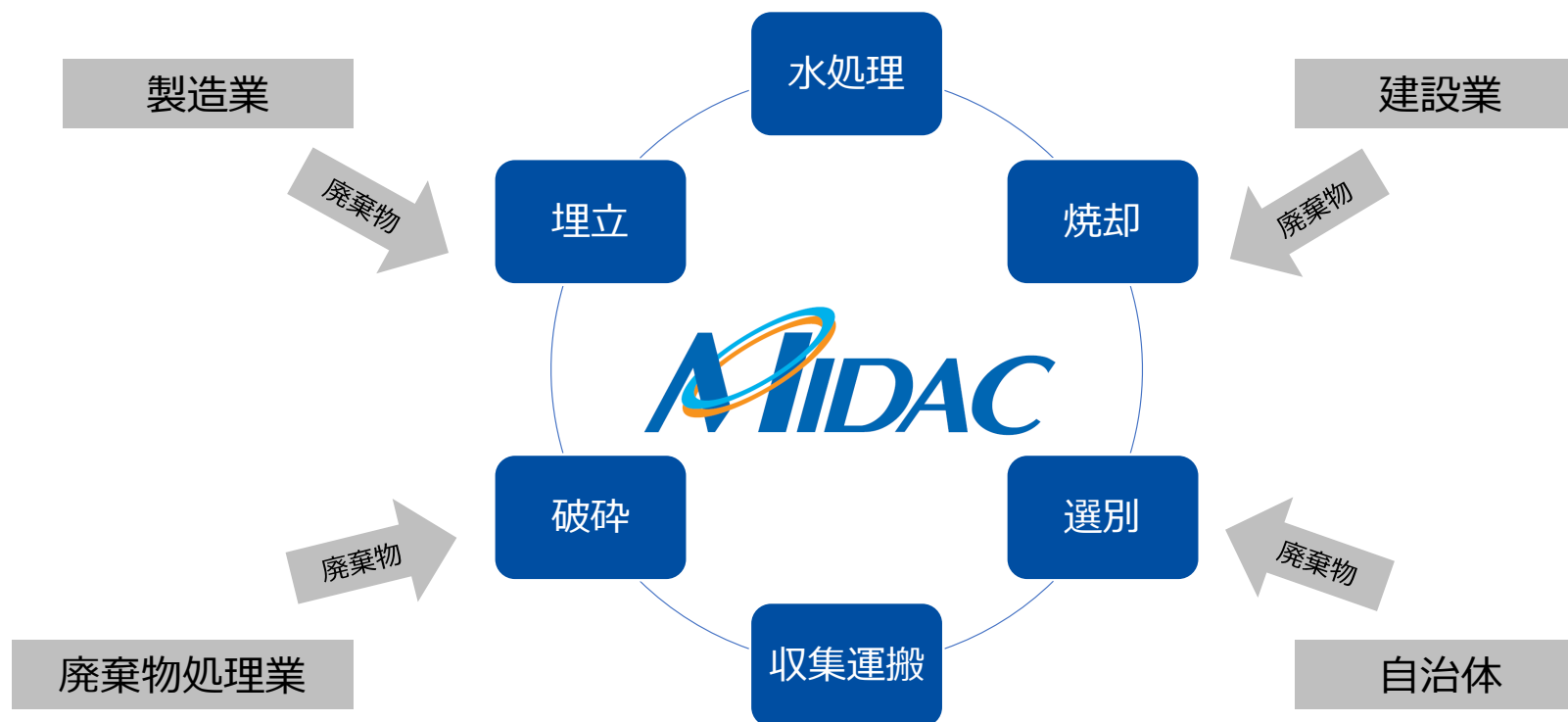
注：内部取引を含む



注：内部取引を含む

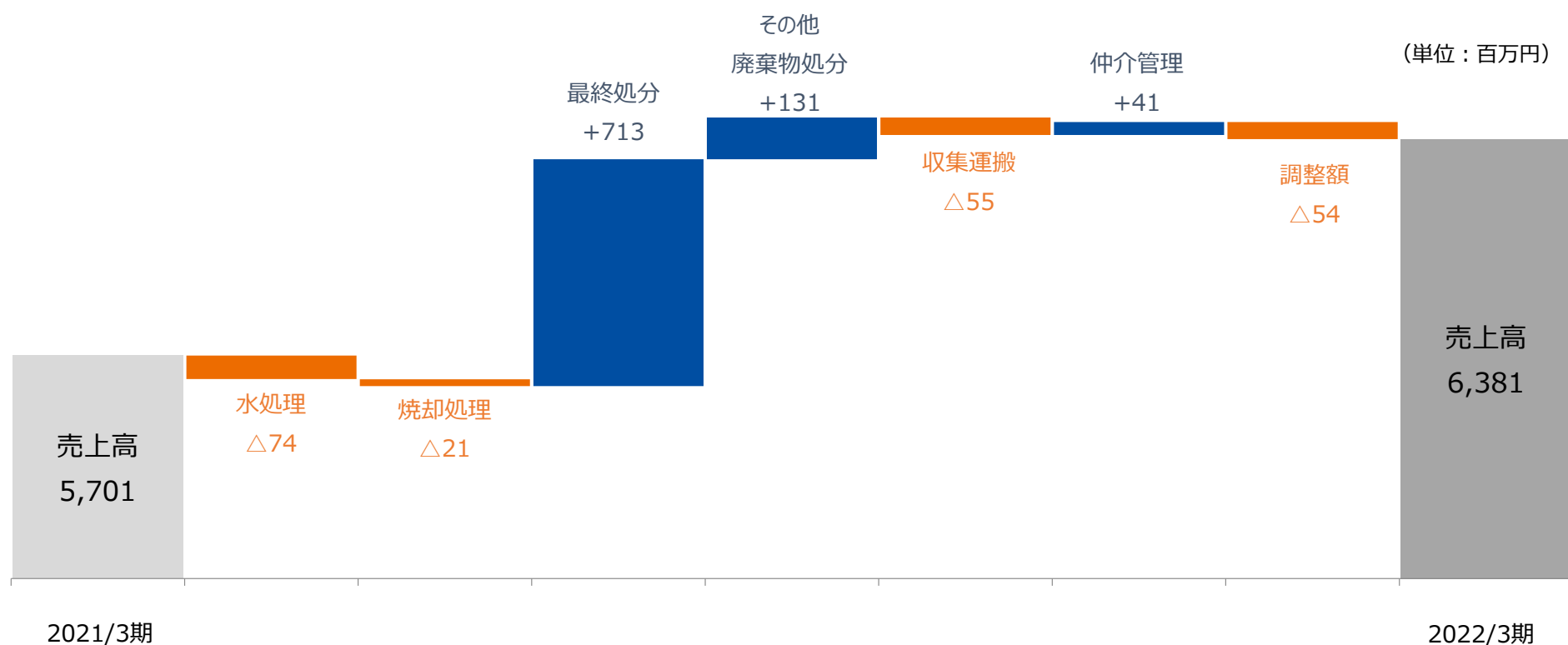
## ②-3 決算内容（新型コロナウイルス感染症による影響）

- 廃棄物一貫処理体制を基盤とし、コロナ禍においても自社が保有する多数の処理施設と許可の優位性を発揮することで、堅調な業種及び取引先に対して効率的な営業を展開することで廃棄物受託量の確保に努めた。
- 営業部門との連携による廃棄物受入体制の強化を継続的に実施することで、各中間処理施設の稼働率向上に努めた。
- 最終処分場においては、旺盛な埋立需要へ対応すべく、自社が保有する複数の最終処分場を効率的に運営することで、受注単価の向上と受託量確保に取り組んだ。



## ②-4 決算内容（売上高増減分析）

- 奥山の杜クリーンセンターの稼働開始や柳産業の子会社化により、最終処分、その他の廃棄物処分が好調に推移
- 水処理は前期の大型工事案件の反動減による
- 前期の大型工事案件の反動減や新型コロナウイルス感染症の影響もあり、収集運搬は減収となった

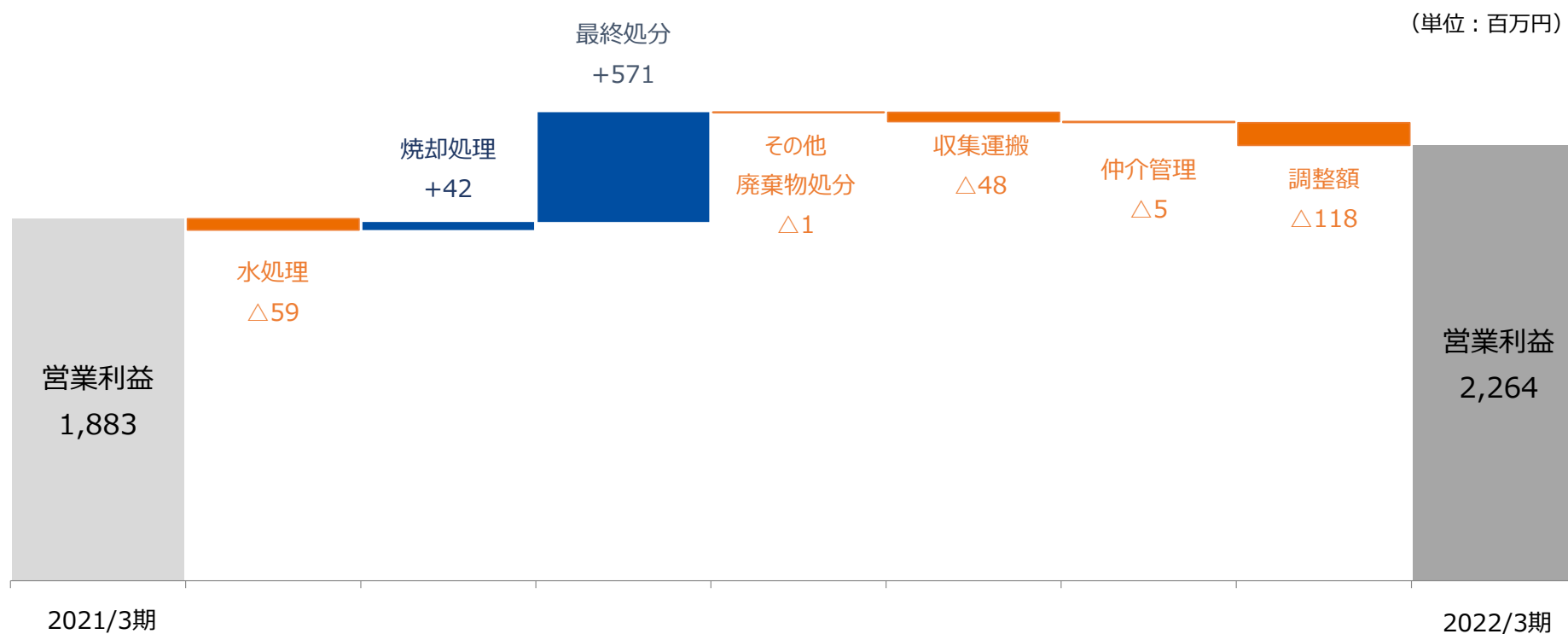


注1:各カテゴリー別の数値は内部取引を含む

注2:調整額はセグメント間取引消去の増減

## ②-5 決算内容（営業利益増減分析）

- 最終処分、焼却処理等の廃棄物処分事業は好調に推移
- 前期の大型工事案件の反動減もあり、収集運搬、仲介管理は減益となった



注1:各カテゴリー別の数値は内部取引を含む

注2:調整額はセグメント間取引消去と全社費用の増減

## ②-6 決算内容（業績予想との比較）

- 持株会社体制への移行に伴う許認可取得のため、期末には廃棄物の搬入制限を余儀なくされるなど、受託量への影響が見られた
- 株式会社ミダックにおいて、新規管理型最終処分場（奥山の杜グリーンセンター）の稼働や、M&Aにより新たにグループに加わった株式会社柳産業の業績が寄与し、受託量は増加

（単位：百万円）

	2022/3期 通期予想	2022/3期		
		実績	構成比	進捗率
売上高	6,003	<b>6,381</b>	<b>100.0%</b>	<b>106.3%</b>
売上原価	2,291	<b>2,451</b>	<b>38.4%</b>	<b>106.9%</b>
売上総利益	3,711	<b>3,929</b>	<b>61.6%</b>	<b>105.9%</b>
販売費・一般管理費	1,570	<b>1,665</b>	<b>26.1%</b>	<b>106.0%</b>
営業利益	2,140	<b>2,264</b>	<b>35.5%</b>	<b>105.8%</b>
営業外収益	14	<b>41</b>	—	—
営業外費用	72	<b>117</b>	—	—
経常利益	2,082	<b>2,188</b>	<b>34.3%</b>	<b>105.1%</b>
特別利益	0	<b>0</b>	—	—
特別損失	0	<b>0</b>	—	—
税引前当期純利益	2,082	<b>2,188</b>	<b>34.3%</b>	<b>105.1%</b>
法人税等	896	<b>887</b>	—	—
当期純利益 <sup>(注)</sup>	1,186	<b>1,301</b>	<b>20.4%</b>	<b>109.7%</b>

注：親会社株主に帰属する当期純利益

## ②-7 決算内容（貸借対照表）

- 流動資産の増加：好調な営業キャッシュフローによる現預金の増加等を要因としたもの
- 有形固定資産の増加：新規管理型最終処分場への投資が増加したことによるもの
- 短期借入金、長期借入金、社債が増加した一方、新株発行による資本金、及び資本剰余金の増加と当期純利益の増加により、自己資本比率は前年同期比8.6ポイント改善し47.5%となった。

(注)

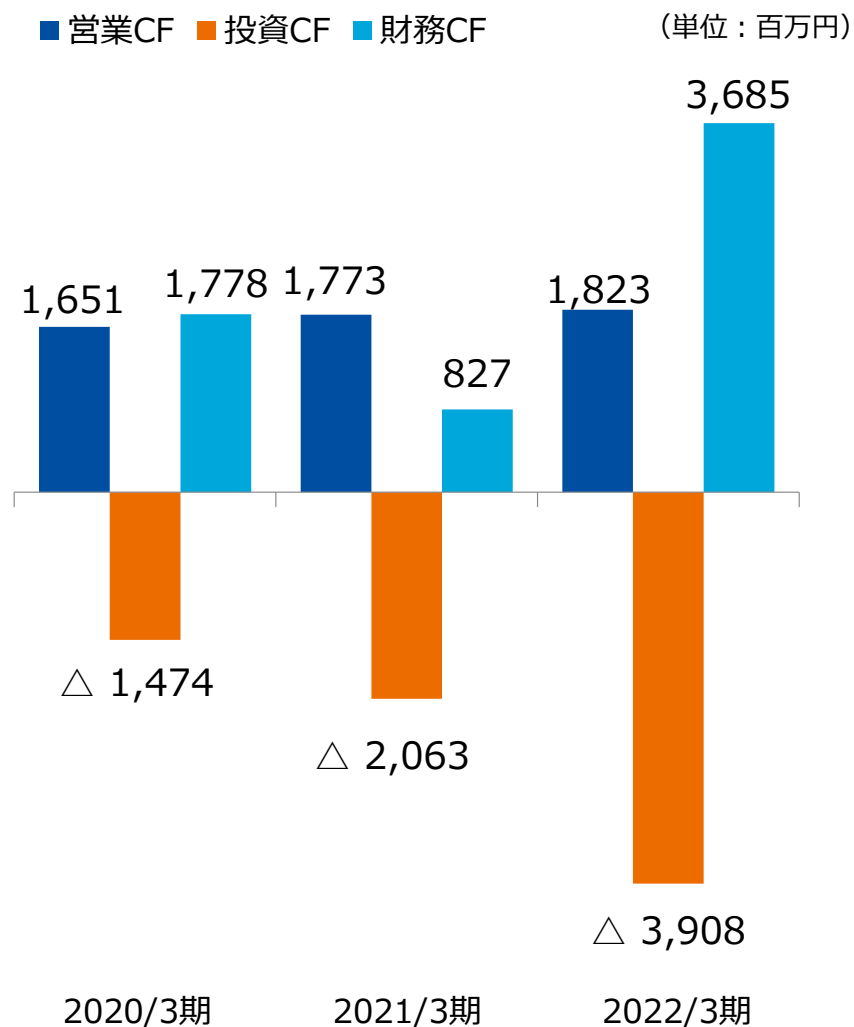
(単位：百万円)



注:親会社株主に帰属する当期純利益



## ②-8 決算内容（キャッシュフロー計算書）



### 営業CF

税金等調整前当期純利益 +2,188百万円  
 減価償却費 +413百万円  
 のれん償却額 +254百万円  
 法人税等の支払額 △945百万円 等

### 投資CF

有形固定資産の取得による支出 △2,919百万円 等

### 財務CF

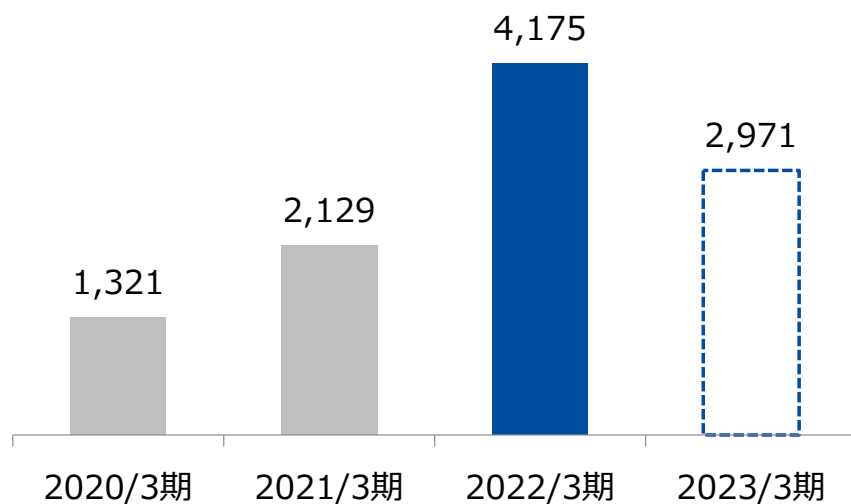
株式の発行 +2,775百万円  
 長期借入れによる収入 +1,067百万円 等

## ②-9 決算内容（設備投資）

- 2022/3期の設備投資は、新規最終処分場に係る設備投資額が増加
- 2023/3期も土地取得等、新規廃棄物処理施設に係る設備投資を継続する予定

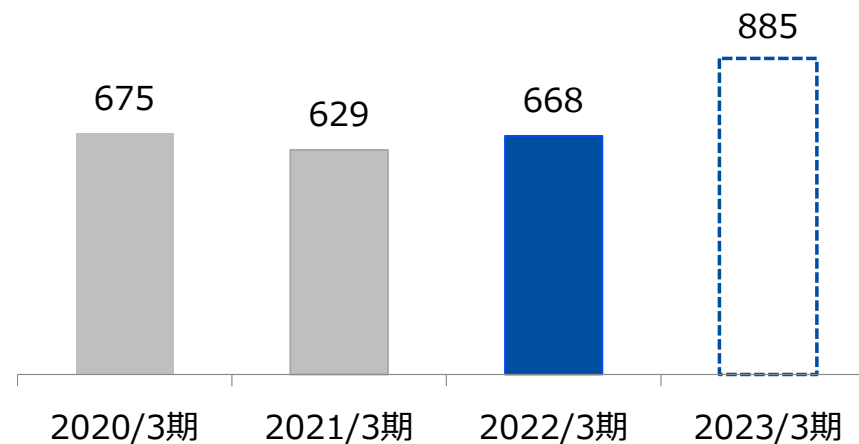
設備投資額

(単位：百万円)



減価償却費+のれん償却費

(単位：百万円)



①当社グループの紹介	…P2
②決算内容	…P8
③今後の見通し	…P18
④新規廃棄物処理施設の設置計画	…P22
⑤トピックス	…P29
⑥Appendix	…P32

### ③-1 今後の見通し（通期業績予想）

- 最終処分場においては、新規管理型最終処分場（奥山の杜クリーンセンター）の稼働により大幅に増加した処理能力を活かすべく、広域営業を積極的に展開することで受託量の更なる拡大を目指す。
- 中間処理施設においては、引き続き販路拡大に向けた営業活動を推進することで稼働率の向上を図る。

	2022/3期 実績	2022/3期		
		予想	構成比	前期比
売上高	6,381	7,844	100.0%	22.9%
売上原価	2,451	3,017	38.5%	23.1%
売上総利益	3,929	4,826	61.5%	22.8%
販売費・一般管理費	1,665	1,863	23.8%	11.9%
営業利益	2,264	2,962	37.8%	30.8%
営業外収益	41	15	—	—
営業外費用	117	92	—	—
経常利益	2,188	2,885	36.8%	31.9%
特別利益	0	0	—	—
特別損失	0	0	—	—
税引前当期純利益	2,188	2,885	36.8%	31.9%
法人税等	887	1,135	—	—
当期純利益 <sup>(注)</sup>	1,301	1,750	22.3%	34.5%

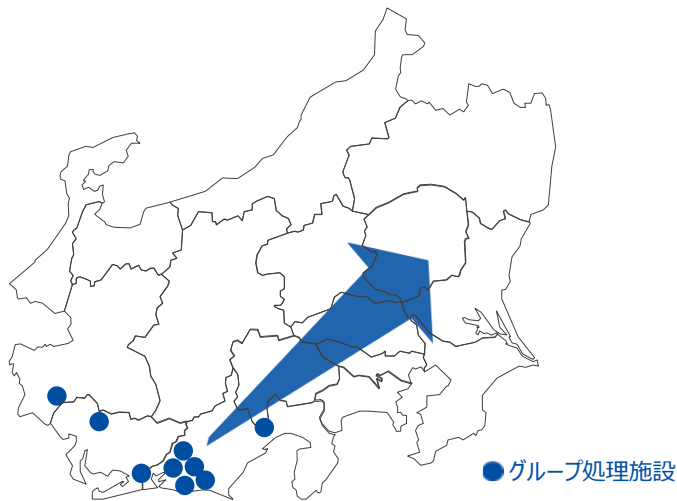
(単位：百万円)

注：親会社株主に帰属する当期純利益

## ③-2 今後の見通し（中長期的な成長戦略）

- 事業地域を拡大し、成長を続けるには、需要が見込める有望地域への拠点展開が不可欠
- 太平洋ベルト近辺に焼却施設及び最終処分場の設置候補地を複数選定し、同時並行的に計画を推進することで、早期に設置許可を取得し、事業の更なる拡大を目指す

### 関東方面への展開注力



- 関東地域への展開に注力し、新規廃棄物処理施設の設置候補地を複数選定
- 新規廃棄物施設の展開については、自社での開発だけに限定せず、M & Aなど柔軟かつスピーディに対応

### 自社による開発



2022年2月 稼働  
新規管理型最終処分場



2022年3月 土地取得  
新規焼却施設用地取得



2026年4月以降 稼働予定  
新規水処理施設

### 積極的かつスピーディーなM&A



2015年 3月  
(株)三晃



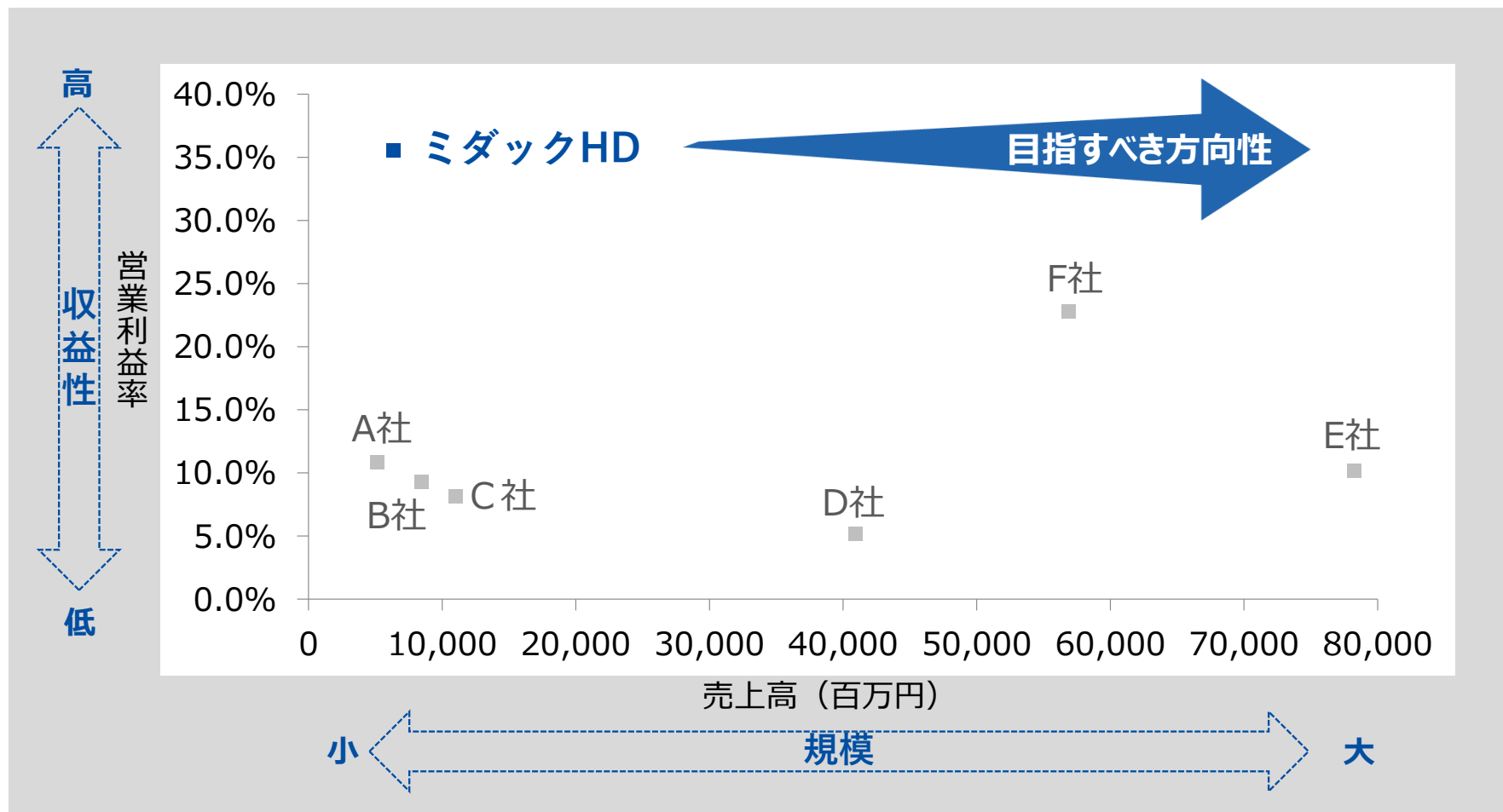
2015年12月  
(株)ミダック



2021年10月  
(株)柳産業

### ③-3 今後の見通し（同業他社比と目指す方向性）

- 売上高は6,381百万円で規模の面では同業他社に劣るものの、営業利益率は35.5%と高い収益性を維持
- 引き続き関東方面への進出を図り、規模の拡大を目指していく



①当社グループの紹介	…P2
②決算内容	…P8
③今後の見通し	…P18
④新規廃棄物処理施設の設置計画	…P22
⑤トピックス	…P29
⑥Appendix	…P32

## ④-1 新規廃棄物処理施設の設置計画（管理型最終処分場：奥山の杜CC）



- 浜松市北区の新規管理型最終処分場は、2022年2月に稼働を開始
- 第2期から第4期工事までの工事を連続して行うことで、埋立容量は約20万 $m^3$ 増加（軽微変更含む）

### 施設概要

施設名称	奥山の杜クリーンセンター
許可容量	3,193,177 $m^3$ （軽微変更後）
稼働開始	2022年2月7日
埋立予定期間	約30年
投資予定総額	約120億円



### 既存処分場との規模の比較

既存の管理型最終処分場に比べ、約7～8倍の規模を確保

新規管理型最終処分場  
奥山の杜クリーンセンター  
3,193,177 $m^3$   
(東京ドーム約2.5杯分)

遠州  
クリーンセンター  
447,297 $m^3$



## ④-2 新規廃棄物処理施設の設置計画（新規水処理施設）

- 既存水処理施設の処理能力の増強、並びに老朽化への対応のため、新規水処理施設の設置を計画
- 施設用地は2019年12月に取得が完了

### 取得予定固定資産の概要

施設の名称	未定
所在地	静岡県浜松市北区新都田一丁目104番10号
面積	12,851.64㎡
施設の種類	水処理施設
施設規模 (計画)	処理能力は既存施設の約5倍
投資総額	約32億円（予定）
資金計画	取得資金の一部は新株式発行により調達し、残額については自己資金で充当する予定

### 今後の見通し

- ◆ 事前協議が終了し、事業計画を2022年3月に提出
- ◆ 新規水処理施設は、2026年4月以降の稼働を予定



※写真はイメージです

## ④-3 新規廃棄物処理施設の設置計画（新規焼却施設）

- 2021年11月18日、関東方面への進出の第一歩として、新規焼却施設用地の取得について決議
- 2022年3月18日、新規焼却施設用地の取得が完了
- 土地取得資金は2019年12月に実施した新株式発行及び自己株式の処分により調達した資金を充当

### 取得予定固定資産の概要

施設の種類	焼却施設
施設規模 (計画)	200 t / 日程度 (富士宮事業所：132 t / 日)
取得金額	約6.4億円
物件取得日	2022年3月18日
施設の名称	未定
所在地	埼玉県熊谷市妻沼西1丁目37、38
面積	8,859.66㎡

### 今後の見通し

- ◆ 廃棄物処理法による設置許可申請が行政に受理され、当該申請の許可が下りると工事の着工が可能となる。
- ◆ 事前協議に向け、基本計画を策定中
- ◆ 現時点においては稼働開始時期は未定。



## ④-4 新規廃棄物処理施設の設置計画（既存最終処分場の増量計画）

- 遠州クリーンセンター（管理型最終処分場）及び浜名湖クリーンセンター（安定型最終処分場）の埋立容量の増量

事業所名		遠州クリーンセンター	浜名湖クリーンセンター
埋立容量	増量前	447,297m <sup>3</sup> (※1)	442,846m <sup>3</sup>
	増量後 (※2)	486,054m <sup>3</sup>	827,178.94m <sup>3</sup>
稼働時期		2023年3月	2024年9月
外観			

(※1) 遠州クリーンセンターは、2021年6月に軽微な変更を行っており、埋立容量は410,575m<sup>3</sup>から447,297m<sup>3</sup>に増加しております。

(※2) 増量後の数量は、計画の修正等で変動することがあります。

## ④-5 新規廃棄物処理施設の設置計画（新規管理型最終処分場）

- 中間処理施設、及び最終処分場の設置候補地を複数選定し、同時並行的に計画を推進することで、早期に設置許可を取得し、事業の更なる拡大を目指す

### 管理型最終処分場

- ◆ 東日本エリアにおいて、2ヶ所の管理型最終処分場（各150万 $m^3$ ~200万 $m^3$ 超）を計画
- ◆ いずれも地形測量、地質調査を完了し、環境調査を実施中



※写真はイメージです

## ④-6 新規廃棄物処理施設の設置計画（新規中間処理施設）

- 中間処理施設、及び最終処分場の設置候補地を複数選定し、同時並行的に計画を推進することで、早期に設置許可を取得し、事業の更なる拡大を目指す

### 中間処理施設

- ◆ 一貫処理体制下におけるシナジー効果が期待できる中間処理施設用地の確保
- ◆ (株)柳産業に隣接（静岡県浜松市西区）の土地10,785.28㎡を2021年12月に取得



※写真はイメージです



①当社グループの紹介	…P2
②決算内容	…P8
③今後の見通し	…P18
④新規廃棄物処理施設の設置計画	…P22
⑤トピックス	…P29
⑥Appendix	…P32

## ⑤-1 トピックス（株式会社柳産業の子会社化）

- 2021年10月21日、株式会社柳産業の全株式を取得し、子会社化を実現
- 建設廃棄物を取り扱う柳産業が加わることで、当社グループの業容拡大に寄与

### 株式会社柳産業

所在地	静岡県浜松市西区馬郡町902 番地の1
設立年月日	1982 年 4月14 日
資本金	5,000千円
事業内容	産業廃棄物処理業（選別・破碎・圧縮）等
取扱品目	建設系廃棄物 等



### ＜廃棄物の処理フロー＞

#### 柳産業の事業範囲

【廃棄物の受入】



【選別・破碎・圧縮】



【外部への搬出】



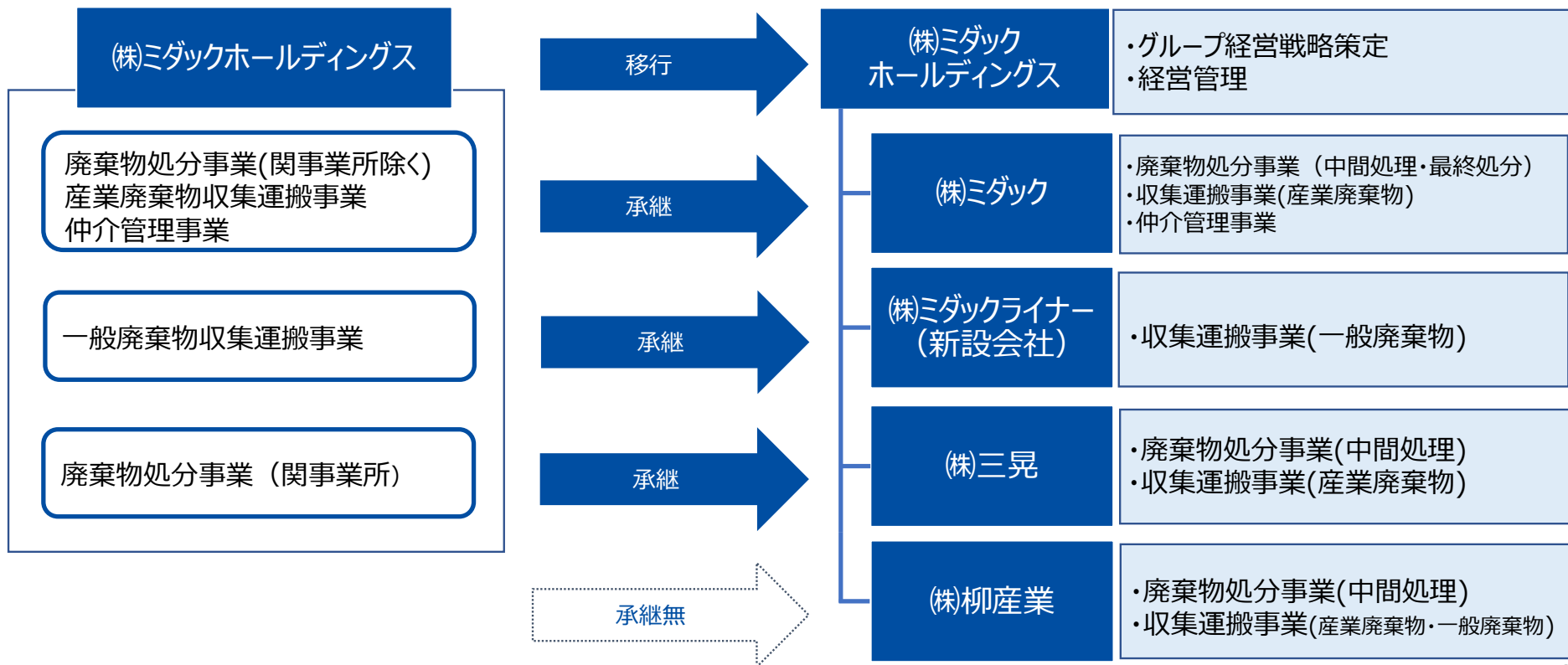
ミダック 等

## ⑤-2 トピックス（持株会社体制への移行）

- 2022年4月1日を効力発生日とする会社分割により、持株会社体制へ移行
- 2022年4月1日に新たに株式会社ミダックライナーを設立

— ~ 2022年3月31日 —

— 2022年4月1日 ~ —



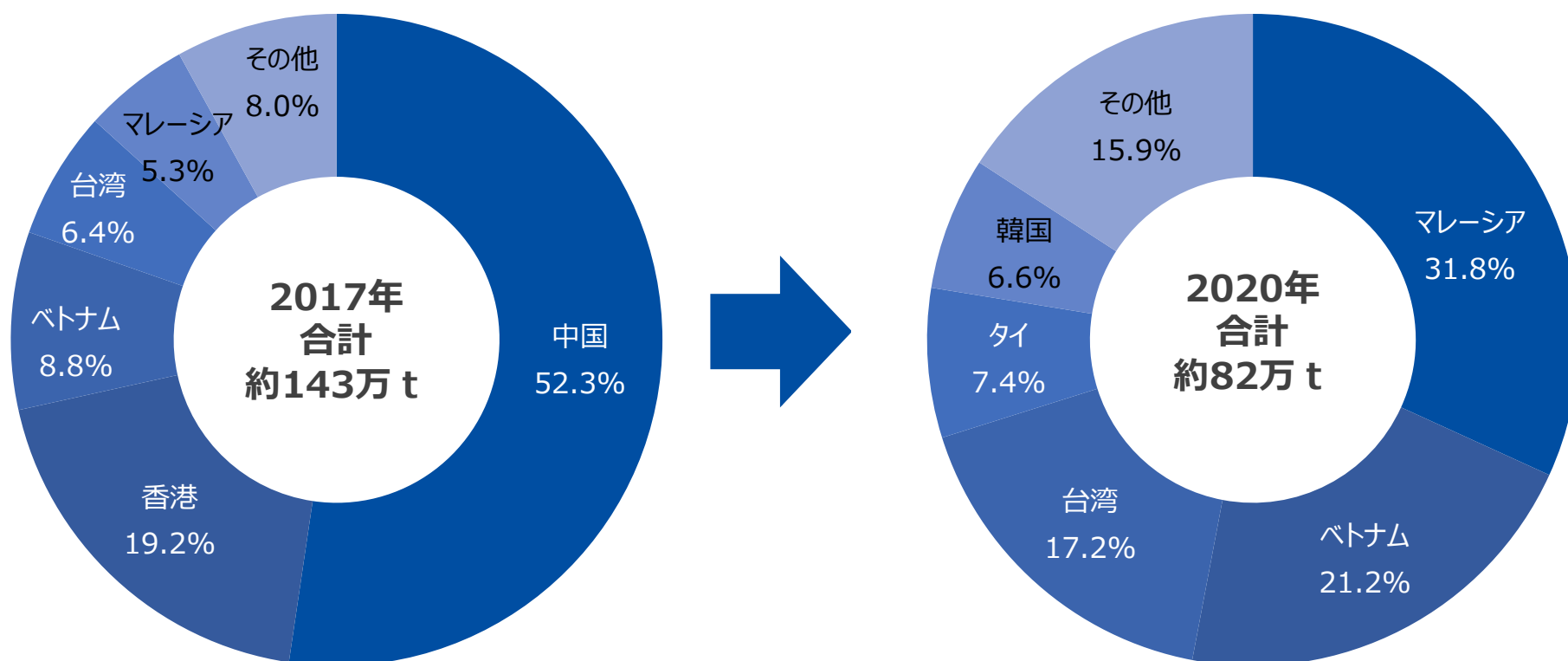


①当社グループの紹介	…P2
②決算内容	…P8
③今後の見通し	…P18
④新規廃棄物処理施設の設置計画	…P22
⑤トピックス	…P29
⑥Appendix	…P32

## ⑥-1 業界環境（中国の廃プラスチック輸入禁止措置と改正バーゼル）

- 2017年末の中国の廃プラスチック輸入禁止措置により、国内における廃プラスチック類の処理がひっ迫
- 2021年1月発効の改正バーゼルにより、廃プラスチック類の輸出に対し規制が強化された

－ 日本の廃プラスチック類の年間輸出量と輸出先内訳 －

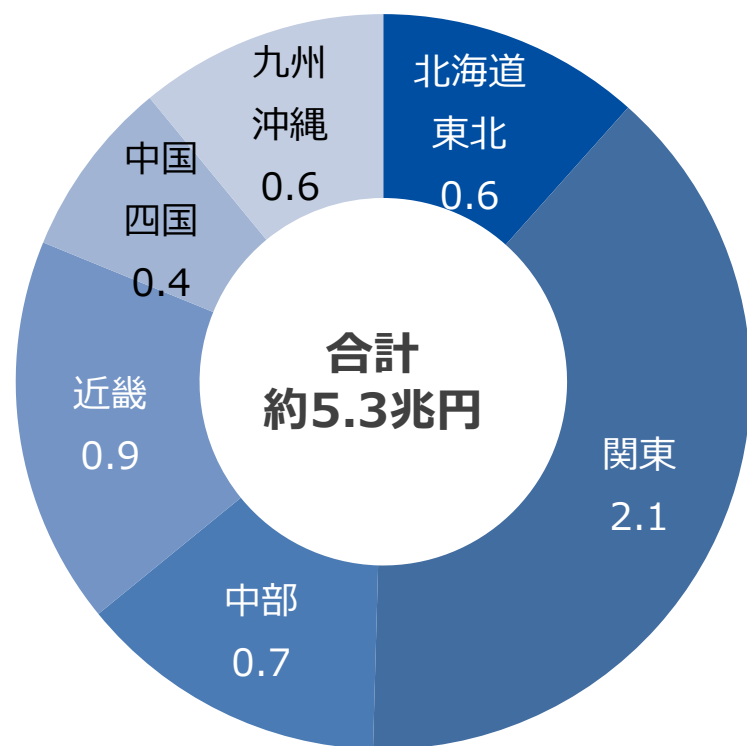


出展：財務省貿易統計  
 公益財団法人日本容器包装リサイクル協会「プラスチックのくず（廃プラスチック）および古紙の輸出統計」

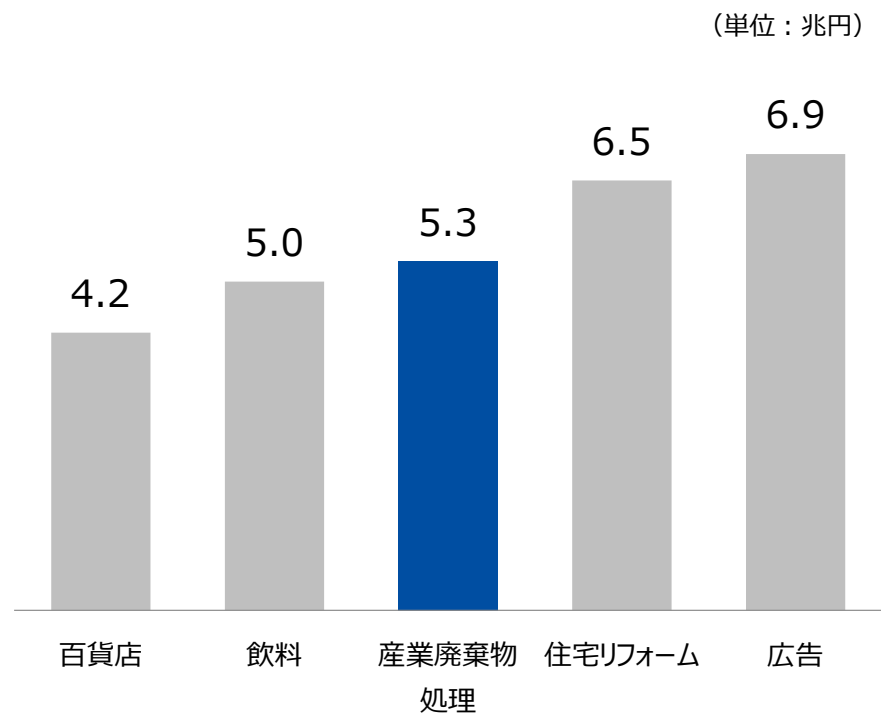
## ⑥-2 業界環境（市場規模）

- 国内における産業廃棄物処理業界の推定市場規模は、約5.3兆円
- 「飲料」業界と同程度の市場規模

産業廃棄物処理業界の推定市場規模



他業界との市場規模の比較



出典: 日本百貨店協会「令和2年12月全国百貨店売上高概況」(百貨店)、(株)矢野経済研究所「2020年版 飲料市場の現状と展望」(飲料)、環境省「平成23年度産業廃棄物処理業実態調査業務報告書」(廃棄物処理)、(株)矢野経済研究所「住宅リフォーム市場に関する調査(2020年)」(人材派遣)、(株)電通「2019年 日本の広告費」(広告)

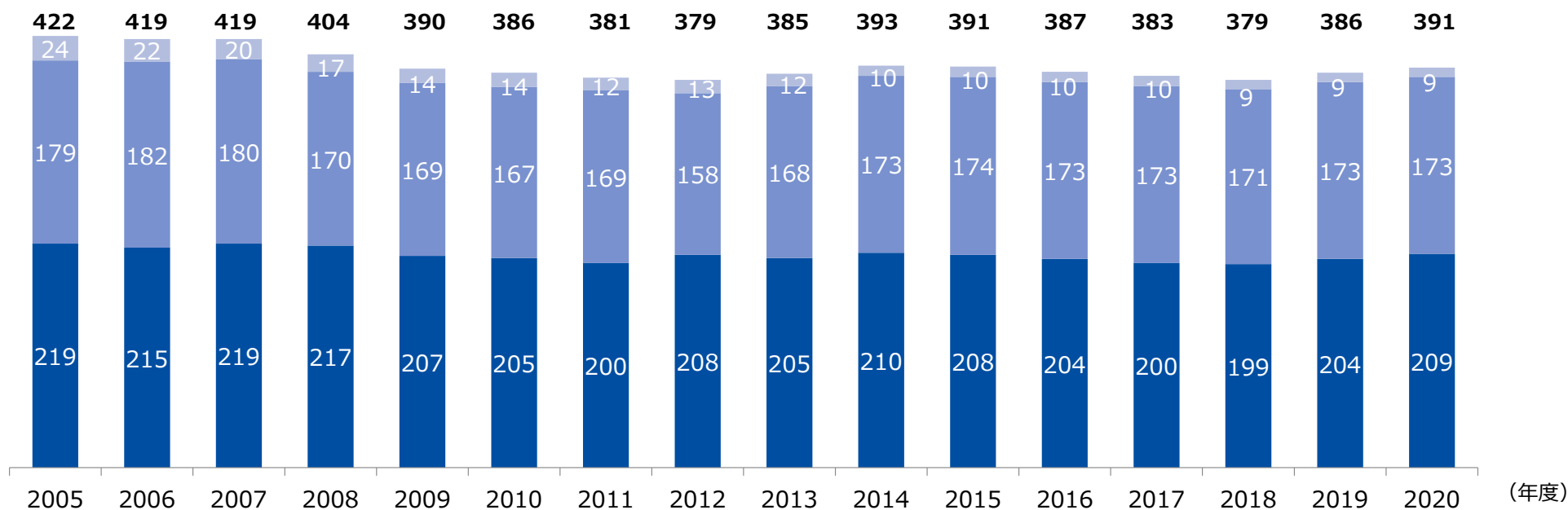
出典: 環境省「平成23年度産業廃棄物処理業実態調査業務報告書」

## ⑥-3 業界環境（産業廃棄物の総排出量）

- 産業廃棄物の総排出量は2020年度で391百万トンであり、大きな変化は見られない
- 今後においても、一定の廃棄物の排出が継続するものと予測

- 最終処分量
- 減量化量
- 再生利用量

(単位：百万 t)

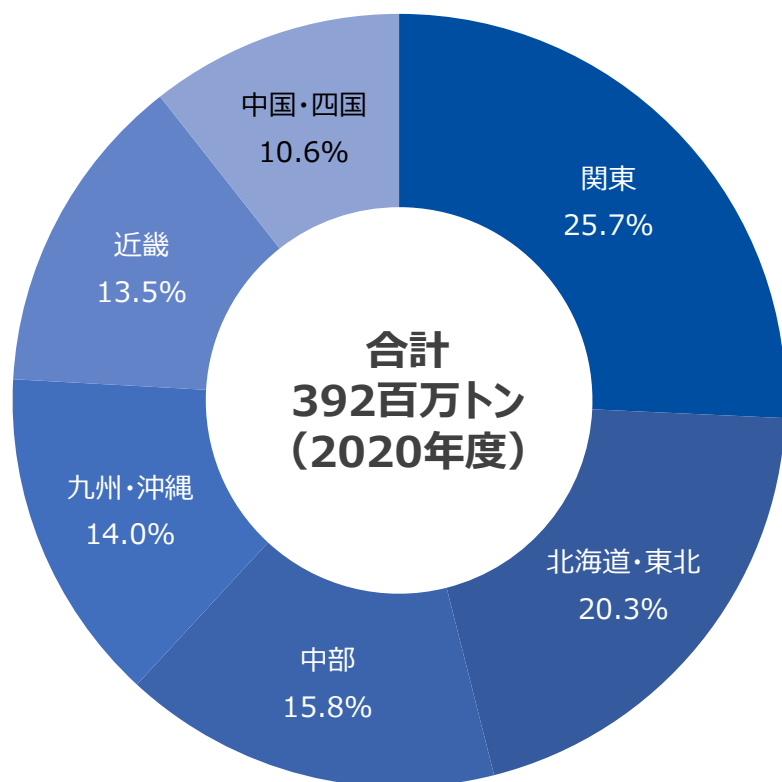


出典：環境省「産業廃棄物排出・処理状況調査報告書（令和2年度速報値）」

## ⑥-4 業界環境（地域別・業種別排出割合）

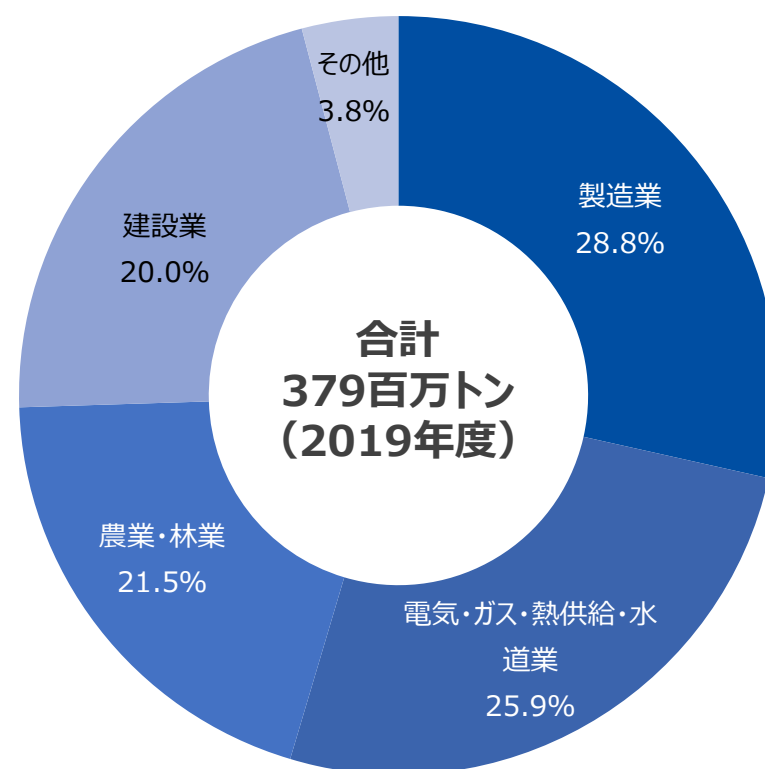
- 産業廃棄物の排出量を地域別で見ると、関東地区の排出量が最も多く、次いで北海道・東北、中部
- 業種別では、製造業の排出量が最も多く、次いで電気・ガス・熱供給・水道業、農業・林業、建設業

産業廃棄物の地域別排出割合



出典:環境省「産業廃棄物の排出及び処理状況（令和2年度速報値）」

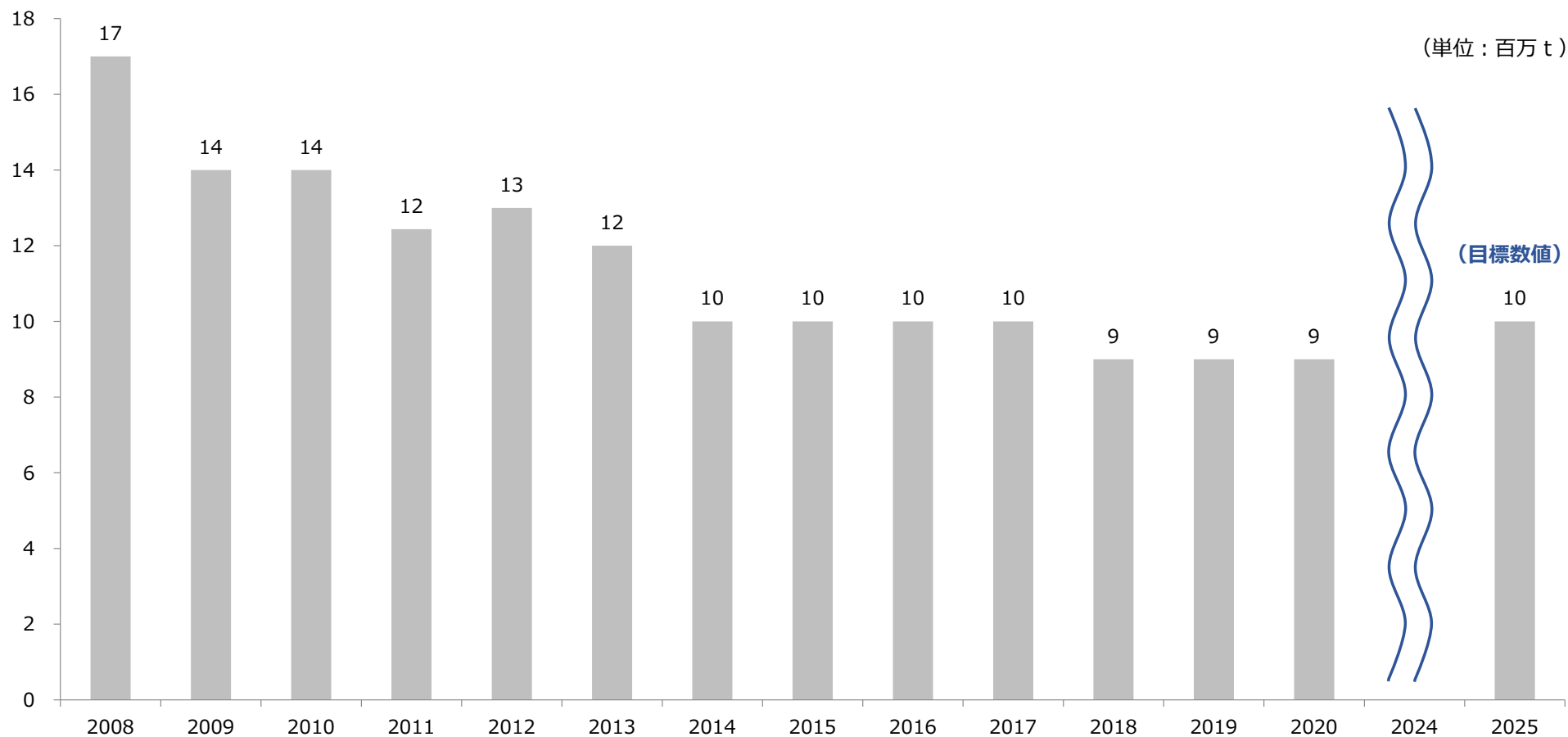
産業廃棄物の業種別排出割合



出典:環境省「産業廃棄物の排出及び処理状況（令和元年度速報値）」

## ⑥-5 業界環境（最終処分場の推移）

- 循環型社会形成推進基本計画では2025年度の最終処分量の数値目標を約10百万トンと設定
- 最終処分は今後も不可避免的に発生し、最終処分場は社会に必要不可欠な存在



出典：環境省「産業廃棄物排出・処理状況調査報告書（令和2年度速報値）」、環境省「循環型社会形成推進基本計画（平成30年6月）」

## ⑥-6 企業価値向上に向けての取組

### ■ 社員と家族がいつまでも安心して働くことができるよう、より良い職場環境を確保

#### プラチナくるみんマークの認定取得

2015年8月に静岡県企業の企業では2番目（産業廃棄物処理業界では初）のプラチナくるみんマークを取得しました。



「プラチナくるみん認定制度」は、平成27年4月1日施行の改正次世代法により創設され、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣の認定（くるみん認定）を受けた企業のうち、より高い水準の取組みを行った企業が認定を受けられる制度です。

#### 週に3日のノー残業 <月・水・金>

週に3日のノー残業デーを実施しています。

#### 年次有給休暇の個別指定方式

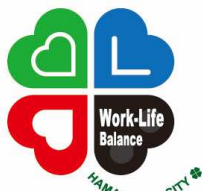
従来から有給休暇の計画付与を実施していましたが、社員の都合や希望に合わせた休みを取得できるよう個別指定方式を採用。

#### 育児・介護を支援

育児や介護による休業について、その一部を有給化することにより、育児・介護を支援しています。

#### ワークライフバランス企業の認定取得

2017年2月に浜松市ワークライフバランス等推進事業所を認定取得しました。



働きやすい職場環境づくりや女性活躍の推進を図るため、仕事と家庭（子育てや介護）、地域活動等との両立支援などのワーク・ライフ・バランスに取り組んでいる事業所を認証する制度です。

#### 女性従業員支援

働く女性を応援するセミナーや勉強会を定期的実施することによって、女性従業員がより働き易くなるよう職場の環境づくりに積極的に取り組んでいます。

#### 新型コロナワクチン接種に対する特別休暇の導入

新型コロナウイルス感染拡大防止の一環として、ワクチン接種を柔軟に受けることが出来る環境を整えるために、ワクチン接種日における特別休暇を導入しています。

## ⑥-7 企業価値向上に向けての取組

### ■ 地域社会との良好な関係を構築するため、また環境保全のため、当社グループは精力的に活動



#### 五島海岸清掃活動【11月】

私たちの海を守るために、当社は、「6R県民運動」に賛同しています。その運動の一環として、2021年11月に、浜松五島海岸にて清掃活動を行いました。



#### 環境教育【4月】

なゆた浜北にて浜松市環境部ごみ減量推進課、株式会社青空農園と協働で、体験教室を実施しました。「移動式循環リサイクルカー」を用いて、ごみ減量という観点から、生ごみの有効利用方法についてお話ししました。

#### 【公式】YouTube企業チャンネルの開設・運営

「SDGsプロジェクト ミダックチャンネル 未来へつなごうSDGs」と題したYouTube企業チャンネルを開設しました。毎月月末に1本の動画が配信されています。



#### 環境教育【9月】

毎年秋ごろに有玉小学校（浜松市）を訪問し、ゴミに関する知識や分別・減量の大切さを楽しく学べるよう環境授業を行っています。 ※新型コロナウイルス感染症に配慮し、2021年度は環境教育DVDを寄贈しました。



#### SDGs推進体制の運用開始【4月】 ミダックSDGs応援団制度導入【9月】

2020年11月に「SDGs推進プロジェクト」を立ち上げ、全部署・全社員への研修等を実施してきました。個人のSDGsの意識を高める活動として、「MSLP制度」や「ボランティア休暇制度」を定めました。

この『MSLP制度』を当社グループ内だけでなく地域社会にも広げることで、地域のSDGs活動の推進に少しでも寄与したいと考え、『ミダックSDGs応援団』制度を導入し、参加者の募集を行いました。



#### 花のリレー・プロジェクト【定期】

『天浜線 人と時代をつなぐ花のリレー・プロジェクト』気賀駅の植栽地の除草作業を行っています。気賀駅に植栽された花壇や周辺の定期的な清掃や美化活動に取り組んでいます。

#### ミダック大抽選会【4月】

毎年恒例のミダック祭、2020年度に続き2021年度もコロナ禍により開催を見送りましたが、少しでも楽しんでもらえるイベントを開催しようと考え、ミダック大抽選会を開催しました。有玉本社近隣の方々へご案内のチラシを配り、多くの方々から応募ハガキをいただきました。





- 本資料は、情報提供を目的としたものであり、当社株式等の特定の商品についての募集・投資勧誘・営業等を目的としたものではありません
- 本資料に記載されている見解・見通し・予測等は、資料作成時点での当社の判断です。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください
- 本資料で提供している情報は万全を期していますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、あらかじめご了承ください
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません



水・大地・空気を未来につなぐ

#### 経営理念

ミダックグループは、水と大地と空気そして人、すべてが共に栄えるかけがえのない地球を次の世代に美しく渡すために、その前線を担う環境創造集団としての社会的責任を自覚して、地球にやさしい廃棄物処理を追求してまいります。

株式会社ミダックホールディングス